

# 2014 Spring & Summer Bishu Material Exhibition 開催概要

(1) 名称 2014 Spring & Summer Bishu Material Exhibition  
(2014年春夏物)

(2) 会期 平成25年5月 28日(火) 13:00 - 18:30  
29日(水) 9:30 - 18:30  
30日(木) 9:30 - 17:00

下線は前回からの変更時刻

(3) 会場 青山ベルコモンズ 9F クレイドルホール  
東京都港区北青山2丁目14-6  
電話 03-3475-8191・8192(展示会場直通)

(4) 主催 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

(5) 目的

尾州地域は、世界でも有数の毛織物産地として栄えてきたが、近年、安価な輸入品の増加等により、取り巻く環境は一層厳しくなっている。こうした中、安易な価格競争から脱却し、尾州産地の長を生かした高付加価値のものづくりを一層推進していくことが求められている。従来から試みる海外市場への尾州産素材の発信、販売促進に加え、本展示会では、付加価値の高い魅力的なものづくりを強みに、回帰基調にある国内市場において、尾州産地の力を結集して販路開拓を目指す。

「オール尾州」で結束したプロジェクトチーム16社が、トレンドコンセプトを共有し、それぞれの強みを活かして、消費者のニーズに沿ったクオリティの高い開発素材を広く発信することで、新規顧客の掘り起こしを図るとともに既存顧客との関係をより強固なものとする。更には、本展示会を通じて、尾州産地全体をアピールし、産地イメージの高揚に努め、出展企業だけでなく産地全体として更なる顧客獲得を目指していく。

(6) 事業内容

展示会場の中央部分に位置するインデックスコーナーでは、各社が共有するネリーロディ社のトレンドコンセプトを基に開発した素材約160点の展示に加え、その一部をガーメント化した製品を展示することで、アパレル・小売等に尾州の魅力を発信する。インデックスコーナーを取り囲む形で設置された小間ブース内では、各出展企業が来場者と個別の展示商談会を実施する。

(7) 出展企業 16社

(8) 入場料 無料

(9) 併催 ジャパン・テキスタイル・コンテスト2012優秀作品展

(10) 問い合わせ先 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター  
一宮市大和町馬引字南正亀4-1

TEL: 0586-46-1361 FAX: 0586-44-7455

平成25年5月15日

 **Bishu Material Exhibition**

## NEWS 1

5月28、29、30日、青山ベルコモンズで開催

シーズン	2014 春夏
会 期	平成 25 年 5 月 28 日 (13:00-18:30) 29 日 (9:30-18:30) 30 日 (9:30-17:00)
会 場	青山ベルコモンズ 9Fクレイドルホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は、5月28日から30日までの3日間にかけて「2014年春夏 Bishu Material Exhibition」を東京都港区北青山の青山ベルコモンズ9階クレイドルホールで開催する。この展示会には尾州産地の素材メーカー16社が出展、約1,740点の新作を展示して商談を展開する。併せて、中央のインデックスコーナーでは、FDCが提携しているパリのトレンド発信企業のネリーロディ社の情報を基に出展企業が製作した160点を3テーマに分けて展示する。

「Bishu Material Exhibition」は今回が6回目、FDCが主催して開催する前身のジョイント・尾州（JB）東京展を含めると19回目を数える。過去18回の開催は、「円高」によるアパレル製品の輸入と生産拠点の海外移転による産地空洞化の進展という条件下であったが、今回は「円安」という追い風の中の開催となる。

大手アパレルや大型小売店は円安に反応し、一斉に「国内回帰」を打ち出ししており、尾州産地に対する期待が高まっている。これを裏付けるように、出展16社に対してFDCが事前に実施したアンケート結果では、14春夏販売計画（金額ベース）は平均で前年比8.25%増となっている。販売増の理由としては「円安で原料高となっており、販売単価がアップする」「輸出への期待」「景気回復で販売増」など円安効果と景気回復が挙げられた。中には「当社にとって春夏は新規分野」という特殊な事情、展示会への期待感から50%増との回答もあった。

円安は確かに国内回帰をもたらしているが、一方で原料高という深刻な影響も及ぼしている。昨年、5月1<sup>※</sup>に1,600円だった毛糸48双糸は現在1,9

00円、同様に1,850円だった60双糸は2,150円へとそれぞれ300円値上がりしており、どこまで価格転嫁できるか見通しは厳しい。

しかし、幸いにも春夏シーズンということで、毛糸の使用頻度が少ないため、値上げの影響は最小限に食い止められそうだ。出展各社も綿、麻などを中心に据え、各種の織り技法、機能を付加してコスト高を吸収する意向だ。

具体的な提案素材は<別表>の通りだが、主な素材としては綿、麻のほかレーヨン、シルク、キュプラなどの複合糸、意匠燃糸で、組織・柄はジャカード、ドビー、カラミ、ツイードなど、加工は接触冷感、光沢感、ストレッチなど多彩である。

出品各社の第6回展への期待は「新規取引先の開拓」が大半を占めており、取り巻く環境が変化する中においても東京市場の深耕拡大を狙っている。

<参考>

前回春夏展3日間の来場者数1,298名

アパレル	520名	40.1%
小売	85名	6.5%
商社・服地卸	512名	39.5%
その他	181名	13.9%

<本資料のお問い合わせ>

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

電話：0586-46-1361

：03-3475-8191(会期中)

	企業名	主力素材	PR
1	岩田健毛織(株)	キュブラ、ビスコース、トリアセ混の複合素材の展開	Bishuらしい春夏素材の提案
		インポート糸・エア―撚糸を用いたトップ・シネ調表現	
		オリジナル・原料・糸形状のハイグレードツイード	
2	(株)ソージェイテック	カラー展開 レーヨン TOP 糸ニットシリーズ	織、ニット共柄もの提案を充実させました。 技術を組み合わせてトレンド感を表現し、加工でバリエーションをつけています。
		ダンボールやジャカードなどの特殊技術ニット	
		柄物・ファンシー系織物	
3	長大(株)	ジャカードバリエーション	天然繊維だけではなく長繊維と組み合わせ、今までに無い風合いを提案してみたいと思っています。
		綿高混率コンパクト二重織	
		リネンツイード	
4	時田毛織(株)	シルクとウールの新しい提案素材	春のオケーションに適した素材を提案します。
		ウールならではのセットアップの提案素材	
		ウール以外での春の提案素材	
5	中伝毛織(株)	立体ドビーファンシー	表情あるアウター素材、ストレッチボトム、しなやかなインナードレス ふはく・ジャージー共に提案します。
		長短複合素材・ブレンド素材	
		光沢感のある素材・加工	
6	西川毛織(株)	複合セットアップ&単品パンツ素材	キレイ目・軽量で光沢感のある素材群 天然素材での接触冷感素材
		AQUA LINO(水撚麻系)	
		ICE COTTON(接触冷感)	
7	日本エース(株)	麻混コンパクトヤーン	トレンドを追うのではなくトレンドを創りだしお客様にご提案いたします！
		フィラメント織物	
		意匠糸ファンシー	
8	林実業(株)	カラミ織	バリエーション豊かなカラミ織を提案します。
		マザーニーズ用の素材	
		スベック染めの素材	
9	(株)ヒラノ	長繊維と短繊維の複合素材	長繊維(フィラメント)と天然繊維の交織素材をドビー、ジャカード等で御提案致します。
		ジャカード	
10	ファインテキスタイル(株)	リネン・リネン混織物	他社には無い表情感のある素材を、織物・ジャージー共に豊富に取りそろえています。
		フィラメントスパン交織物	
		ファンシーツイード織物・ジャージー	
11	みづほ興業(株)	カラミ組織	糸や織りでこだわった素材の提案
		C/Puを使って凹凸感を出した素材	
		経フィラメントを使用した複合素材	
12	宮田毛織工業(株)	麻 100%・麻混使いのミドルゲージ～ローゲージニット	ハイゲージからローゲージまで幅広く展開
		40G ゲージをはじめとするコンパクトニット	
		キュブラ・トリアセなど合織素材	

	企業名	主力素材	PR
13	虫文毛織(株)	ファンシー	SS ツイードから複合素材。それに加えて 2014SS はニット、ラッセルまで幅広く素材を広げます。
		複合素材	
		ケイコウ色	
14	森織物(資)	キュブラ混素材	合繊と天然繊維の交織・混紡素材を多数展示します。
		流れ空調サマーツイード	
15	(株)モーリタン	強撚コットン素材(接触冷感)	風合重視の強撚素材
		テニセルガーゼベア天	ガーゼベア天
		ストレッチデニムジャージ	シャツ・デニム風カットソーなど
16	渡六毛織(株)	ファンシーツイード	自社織機や企画開発力による春夏らしいカラーのファンシーツイードや経キュブラを使った上質でユニークなオリジナル商品
		経キュブラツイード	
		カラミファンシーツイード	

平成25年5月31日


**Bishu Material Exhibition**

## 1 社平均 699 点のサンプルリクエスト

シーズン	2014 春夏
会 期	平成 25 年 5 月 28 日 ( 13:00-18:30 )、29 日 ( 9:30-18:30 )、30 日 ( 9:30-17:00 )
会 場	青山ベルコモンズ 9 F クレイドルホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は5月28日から30日までの3日間、「2014年春夏 Bishu Material Exhibition（以下、「BME」）」を東京都港区北青山の青山ベルコモンズで開催した。6回目となる今回のBMEには尾州産地のテキスタイルメーカー16社が参加し、1,740点の新作とFDCが提携しているネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材160点を展示して商談を進めた。その結果、会期中の来場者は1,403名で、前回春夏展の来場者を8.1%上回り、これまでの最高だった第5回（秋冬展）の1,392名を抜き、過去最多となった。また16社の合計サンプルリクエスト点数は11,190点で、前回春夏展を10.6%上回った。

今回のBMEを取り巻く経済環境は、為替が円安へ移行したことによる原料価格の上昇など、厳しいものがあったが、それにも関わらず来場者数やサンプルオーダー数が前回春夏展を上回った。これは、アパレル・小売の素材手当の「国内回帰」「尾州回帰」が背景にあると見られる。加えて、FDCの東京展はBMEとして6回目、前身のJB（ジョイント・尾州）東京展を含めて19回目となり、文字通り「継続は力なり」を具現化した。

来場者の業種別内訳は、アパレル36.2%、小売4.3%、商社・問屋44.5%、その他15.0%で、アパレル・小売合わせて40.5%となり、商社・問屋に迫った。

展示商品については、「綿や麻、シルク、レーヨンなど素材は他産地と変わらないが、ファンシーヤーンや強撚糸、水撚り麻などの糸使い、カラミやジャカードなどの織り技術、仕上げ加工など尾州産地の技が生かされていた」（大手アパレルデザイナー）というコメントに代表されるように、高付加価値商品が前面に押し出されていた。これらの商品に対してFDCが会場で行ったアンケート調査結果では、3日間計で来場者の94.8%が「関心素材があった」と回答した。また、尾州産地に対して「新商品開発」「尾州らしさ（意匠力）の追求」を求める声が多かった。

一方、サンプルリクエスト数の受注先別内訳は、アパレル43.3%、小売4.8%、商社・問屋49.5%、その他2.4%で、出展企業1社平均では114社から699点になった。

主催者のFDCは会期中に来場者アンケートを実施（回答数 553、回収率 39.4%）した結果は以下の通り。（3日間計：確報値）

< 来場目的 >

トレンド把握	55.4%
商談	36.0%
その他	8.6%

< 来場契機 >

FDCのDM	27.8%
出展企業のDM	52.6%
新聞記事	4.9%
新聞広告	1.6%
ホームページ	2.5%
SNS	0.0%
その他	10.6%

< 尾州産地展への来場回数 >

初めて	27.0%
2 - 5 回目	36.7%
6 - 10 回目	21.3%
11 回目以上	15.0%

< 商談 >

あった	54.7%
なかった	45.3%

< 関心素材 >

あった	94.8%
なかった	5.2%

< サンプル請求 >

会場で請求した	57.2%
後から請求する	22.6%
しない	20.2%

< 尾州産地に求めるもの >

新商品開発	35.1%
マーケット情報に基づくものづくり	12.2%
コストの削減	7.8%
生産サイクルの短縮	5.1%
後継者の育成	8.0%
春夏物の充実	6.1%
尾州らしさ（意匠力）の追求	25.2%
その他	0.5%

## &lt; 第6回BMEの来場者の内訳 &gt;

	1日目	2日目	3日目	計
アパレル	137名	195名	176名	508名 (36.2%)
小売	13名	27名	20名	60名 (4.3%)
商社・問屋	127名	274名	223名	624名 (44.5%)
その他	49名	107名	55名	211名 (15.0%)
計	326名	603名	474名	1,403名 (100.0%)

## (参考)過去の来場者内訳(上段=来場者数、下段=構成比%)

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
第1回	520名 38.7%	41名 3.0%	576名 42.8%	208名 15.5%	1,345名 100.0%
第2回	391名 35.4%	52名 4.7%	527名 47.8%	134名 12.1%	1,104名 100.0%
第3回	451名 35.3%	64名 5.0%	562名 43.9%	202名 15.8%	1,279名 100.0%
第4回	520名 40.1%	85名 6.5%	512名 39.5%	181名 13.9%	1,298名 100.0%
第5回	452名 32.5%	64名 4.6%	646名 46.4%	230名 16.5%	1,392名 100.0%

## &lt; 第6回BMEのサンプルリクエスト状況 &gt;

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	195	1,335	33	129	183	1,091	10	62	421	2,617
2日目	281	1,873	50	235	394	2,364	18	114	743	4,586
3日目	265	1,638	44	171	330	2,085	18	93	657	3,987
計	741	4,846	127	535	907	5,540	46	269	1,821	11,190

## (参考)過去のサンプルリクエスト点数の推移

	出展企業数	来場者数	サンプルリクエスト点数
第1回(AW)	21社	1,345名	14,021点
第2回(SS)	19社	1,104名	8,967点
第3回(AW)	17社	1,279名	11,495点
第4回(SS)	15社	1,298名	10,110点
第5回(AW)	16社	1,392名	11,090点

この件に対するお問い合わせはFDCまで。(0586-46-1361)